

製品名: BNIP3L ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab01346**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 24 kDa; Observed MW: 35 kDa

抗原情報

遺伝子名	BNIP3L
別名	Adenovirus E1B19k binding protein B5; BNIP3a; BNIP3H; BNIP3L; BNIP3L protein; NIP3 like protein X; NIP3L; NIX
遺伝子 ID	665
SwissProt ID	O60238
免疫原	ヒト BNIP3L の合成ペプチド

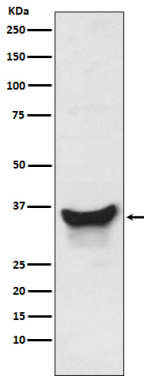
背景

アポトーシスを誘導する。ウイルスおよび細胞の抗アポトーシスタンパク質と相互作用する。抑制因子である BCL-2 および BCL-XL を阻害するが、BCL-XL の高発現はアポトーシスを阻害する。腫瘍抑制因子として機能する可能性がある。BNIP3 によって誘導されるアポトーシスを阻害する。

研究分野

細胞生物学

画像データ



BNIP3L 抗体を使用した K562 溶解物中の BNIP3L のウエスタン ブロット分析。